

## 会場2-4【宮崎県】綾町立綾中学校 発表を見た方からの感想

- 環境について自分達にできることを考え、実際に実行している様子が分かりました。ふるさとを大切にしていけることはとても大切なことであると思います。地域の方も巻き込むことでより多くの影響を与えることができると思います。地域に目を当てた次は家庭にも目を当てて、活動を行って、変化を数値にして見てみたいなと感じました。
- リサイクルや、資源の回収活動を積極的にやっていく姿が素敵だと思いました。コンタクトケースの回収が役に立つことを初めて知ったので、自分の身の回りにはもっと役立つ資源があるのだなと考えさせられました。
- 小学校のころから綾町の環境や街づくりなど様々な取り組みをしているのを聞いてとてもすごいことだなと思いました。さらに、ゴーヤプロジェクトは私も小学校の時にやったことがあったけど、ゴーヤの販売まではしなかったもので、その取り組みもとてもすてきだなと感じました。また、私も最近気にかけているジェンダーレスについても取り組みをされていてかなり学校全体でSDGsを意識しているということが伝わりました。これからも頑張ってください！応援しています。
- SDGsの目標と関連付けて委員会活動を展開していて、自分たちに出来ることからSDGsの目標を達成しようとしていて良いと思いました。ボランティア活動のゴミ拾いは、SDGsの「陸の豊かさを守ろう」と達成していると思いました。グリーンカーテンでゴーヤを取り上げていましたが、アサガオではなくどうしてゴーヤにしたのか気になりました。
- 発表ありがとうございました。ついday、中学生らしいユーモア溢れる取り組みだと思います。森の健康診断や服の力プロジェクトなど初めて知る言葉もあり、感銘を受けました。小さなことでも身近な生活を少しでも変えるために今後も考えを深めていってほしいと思います。
- 校内にSDGsの視点の掲示が多く、自然とSDGsの目標を意識できるような工夫がされていると思いました。コロナ禍でやりたいことが制限されている中、自分たちには何が出来るのかを考え、自ら取り組む姿から、これからの社会にも対応できる力が育てられたのではないかと思います。また、綾中学校での活動を校内でとどまらずに、地域の方に広めたり、困っている人を助けたりすることで、みなさんの積極的な活動に刺激され、問題解決への連鎖が起きるように影響され続けるのではないかと思います。
- 生徒の皆さんが一人一人意識して活動し、地域の方々の協力も得ながら様々な活動に取り組んでいるのが素敵だと思いました。SDGsを意識した活動を、日常生活の中で行っていくことを日々積み重ねて努力されている皆さんがいることで、地域の方も協力しよう、意識しようと思えるのではないのでしょうか。また、活動をしていく中で問題点を見つけ、それをどうすれば改善できるか試行錯誤していくことはとても重要だと思います。今後も試行錯誤しながら、日々の積み重ねを大切にして活動に励んで欲しいです。

- 学校内だけでなく、地域や海外とも連携する取り組みを行っているところが印象に残りました。特に、GU、UNIQLOの「いらなくなった子ども服を海外の子どもに寄付する」といった取り組みが、海外の難民問題に目を向けることができたり、いろいろな立場の子どもがいることを理解したりできるので、非常に良い活動であると思いました。
- 綾町立綾中学校のみなさん、素敵な発表ありがとうございました。自分の身近なところの小さな変化が、社会に大きな影響を与えるといった素晴らしい気づきのある活動でしたね。これからも、活動を行なうことでどのような影響を与えることができるかを考えながら取り組めると良いと思います。また、私自身も考えながら生活していきたいと改めて考えること画できました。ありがとうございました。
- 綾町立綾中学校の発表を聞いて、中学校は小学校に比べて、できることや考え方も大きく増え、幅広い取り組みの軌跡を見させてもらったと感じました。ゴーヤを育てて、グリーンカーテンを活用する、森の健康診断など魅力的な取り組みも多くあり、良い経験をしているなど羨ましく思いました。
- 生徒会を中心に、学校全体でグリーンカーテンやペットボトルの回収などとても多くの持続可能な社会を実現させるための取り組みを行っていて素晴らしいと思いました。コンタクトレンズの回収は聞いたことがなく、珍しい取り組みだと思います。他にも家で出るプラごみはたくさんあると思います。様々な視点でこれからもがんばってください。
- 発表ありがとうございました。「ついDAY」のペットボトルキャップ回収の活動の中でたくさんのペットボトルキャップが集まっておりとても良い取り組みであると感じました。回収したキャップがワクチンになると思いましたがどのような人にそのワクチンを使うのか、なぜワクチンを打つことが必要なのかをつなげて考えてみるとこの取り組みがさらに深いものになるのではないのかと思いました。
- 自然に囲まれた小さな町で、町の活性化や存続のために中学生が自分たちにできることを考えて実践していく姿がすばらしいと思いました。委員会活動の中に上手く組み込み、授業以外の場面でもSDGsについて考えている点が良いと思いました。
- 学びになる発表ありがとうございました。SDGsの目標の達成に向け、ペットボトルキャップ回収の活動やゴーヤプロジェクトなどの活動に取り組むことで、実際にSDGsの目標達成に貢献しようと努める姿が見られました。とくに服のカプロジェクトは、国境を越えて世界の人々に貢献なさる活動が印象的でこれからもSDGsの目標達成のために考えて活動を続けてください。
- 長野県も自然豊かな環境ですが、綾中学校はさらに自然に囲まれていますね。SDGsの目標に沿った全校生徒でのボランティア活動がすごいと思いました。この活動を動かしているメンバーは全校を引っ張っていつている存在であるため、素晴らしいなと思いました。ありがとうございました。
- 普段の生活からSDGsを考えて行動するために、生徒会のスローガンをSDGs関連のものにしたり、掲示物や黒板の端にSDGsのマークを貼ったりしていて意識が高いなと思いました。また、LGBTQの問題にも取り組んでいて現代の問題への対応も早く素晴らしいなと思いました。

- SDGs というと地球規模の取り組みが必要で難しそうというイメージが強かったけど、意外と身近な活動もあって、自分たちでできることを探して実際に取り組んでいるというのがすごいと思いました。小さなことでもやっていくべきだという考えがとても良いと思いました。
- これまでの小学校の活動報告とは違って、中学生らしく落ち着いた発表で、話も聞きやすかった。環境に対する取り組みも、キャップ集めや衣服回収など実際の SDGs のそれぞれの項目に当てはめて、環境保全の活動を行っていることを理解できた。ぜひ、これらの活動を続けていってもらい、この活動を通して学んだことを今後の人生で生かして行ってほしい。
- エアコン使用量の効率化からゴーヤの販売を考えて実行していく行動力に尊敬します。またゴーヤ販売の場所で新聞から使ったエコバックを使ってもらうなど、一つの間から、複数のエコ活動に結び付けていく方法もなるほどと自分自身も学ばせて頂きました。服のリサイクルプロジェクトや多様性については、人々によって意見が分かれている点でもあります。例えば服を難民が多い地域に送るプロジェクトでは、多量の古着を送り付けられ自国の繊維業が衰退させられ、かえって古着がゴミの山となり、新たな環境問題を生み出しているという指摘も上がっています。このような意見の差異を議論し、そもそも SDGs とは何なのか、エコ活動とは何かという本質を見通せる機会を作っていけば、さらに深い活動を行っていただけるのではないのでしょうか。今後も頑張ってください！応援しています。
- 生徒会スローガンにも SDGs が取り入れられていて、意識の高さに感心しました。「つい DAY」の取り組みで、みんなから集められたペットボトルの蓋がワクチン作りに活用されたり、「服のチカラプロジェクト」によって、綾中学校で回収された服が海外に寄付されたりと、実際に様々な活動を行っていて本当にすごいと思いました！
- 宮崎県に行ったことが無いのでこのような自然あふれる場所があるとは知りませんでした。地域の人を巻き込んでの植樹活動、また校舎も木で作られたきれいな校舎だと思いました。また、スローガンを決め、年次ごとに明確な活動を計画し行動していることがとても良いことだと思いました。また課題をしっかり分析している様子も伝わってきました。幅広い SDGs の項目についてよく考えられていると思いました。新たな視点が大事だと私も思いました。
- 日常から目に付くところに SDGs に関連するものを掲示することは、日ごろから意識することが出来る工夫になっていてとてもいいと思いました。地域の人と協力することで、地域活性化につながる点が良いなと感じました。校則を変えたり、生徒総会で出た案を取り入れたりしていて、学校全体で取り組んでいるところが良いなと思いました。
- 自分たちで CO<sub>2</sub>削減のためにエアコンの電力削減、そのためにグリーンカーテンを活用、そのためにゴーヤを育てる、ということまで考えたことが素晴らしいと思います。また、実際にやってみると結果的にはエアコンの使用量が変わっていなかったという結果は、経験を通してしか知ることができない良い経験になったことと思います。課題の発見からこれからの活動につなげていけるとよいと思います。